

<同志社人が誇りに思える情報>

# 同志社ファン・レポート

Doshisha fan report Doshisha fan report Doshisha fan report Doshisha fan report Doshisha fan report Doshisha fan report

発信：同志社ファンを増やす会

第306号・2021年05月1日発信

## 『同志社の自由主義』(3)「キリスト我ヲ自由ニセリ」

野本真也先生

(学校法人同志社元理事長、日本キリスト教団賀茂教会牧師)

### ■はじめに（編集人より）

4月1日で同志社ファンを増やす会は8回目の新年度を迎え、原点を見直そうと野本真也先生に<同志社人が誇りにすべきこと>をお伺いしますと「それは同志社の自由教育でしょう」と「奨励・同志社の自由主義」のご提供と利用の承諾をいただきました。

内容は聖書やキリスト教のことが出てきますが、これを避けていたのでは、いつまでも同志社や新島襄の核心に迫れない、と考えました。

そこで全文を5回に分け、聖句やキリスト教は、牧師の有賀誠一先生（同志社大学卒、理学博士）に解説を「同志社ファン ZOOM 講座」でお願いしております。また、用語については、文末に参考情報を添え、講座でも口頭説明します。このようにレポートは講座とセットになっています。

\* \* \*

兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全うされるからです。だが、互いにかみ合い、共食いつているのなら、互いに滅ぼされないように注意しなさい。

(ガラテヤの信徒への手紙 5章13-15節)

### ③ 「キリスト我ヲ自由ニセリ」

新島によれば、この真誠の自由こそは、キリストが私を自由にしてくださった、その自由であるとして、こう述べています。「兄弟ヨ、我輩ハ神ヲ知ラス、全ク罪ノ奴僕トナリ居リシモノナルヲ、キリスト我ヲ自由ニセリ」(『新島襄全集2』102頁)。

この自由の理解が聖書に基づいていることは、今学期の聖句、ヨハネによる福音書八章三二節からも明らかですが、先ほど読んでいただいたガラテヤの信徒への手紙5章13節以下からも明白であると思います。「兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです」。直訳すれば、「あなたがたは自由へと呼び出されているのです」となります。誰から呼び出されているのか。もちろんイエス・キリストをとおして、神の自由にあずからせていただくために、神から呼び出されているのです。

ところが、パウロの設立したガラテヤの教会のなかには、自分の主義主張や我が儘を自由であるかのように振る舞う人びとが出てきていたのです。ユダヤ教の律法と、その律法に関わるさまざまな解釈に固執する人びと、あるいはローマ帝国のなかに広がっていた諸宗教や民間信仰の教えや祭りや習慣などに囚われていた人びとなどもあり、議論や紛争が生じていました。パウロは、そのような人びとのことをガラテヤの信徒への手紙4章3節で「世を支配する諸霊に奴隷として仕えて」とか、同8節で「もともと神でない神々に奴隷として仕えて」と表現しています。

こうなると、各々が自分勝手な自由を主張するわけですから、自由と自由がぶつかり合うようになります。そして人間は、自分の自由を拡大していけばいくほど、それに反比例するかのようになり、自分というエゴの奴隷になっていくのです。それが聖書で言うところの「罪」なのですが、自分のエゴが他人のエゴと衝突し、お互いの自由と自由をぶつけ合って、一方が他方の自由を侵害したり、お互いに自由の侵害を告発したりしなければならなくなってしまふ。私たちは、このような人間の悲しむべき現実を、個人のレベルから、いろいろな集団、そして国家のレベルに至るまで、毎日のように経験しているのではないのでしょうか。

たとえば、現在の私たちも、自由競争を徹底化していく「新自由主義」と呼ばれているような政治や経済の思想が主流となっている社会に生きています。しかし、その弊害が弱い立場の人びとを苦しめる悲惨な状況を生み出していることも事実でしょう。だとすれば、パウロの、これに続く言葉に耳を傾ける必要があります。「ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい」。

ここでいう「肉」とは、自己中心に生きる人間のことです。「肉に罪を犯させる機会とせず」というのは、直訳すれば「肉の機会へ向けてではなく」となります。

補足情報 担当：多田 直彦

・新島襄の出会った「キリスト教」 野本真也先生 →

[http://www.christian-center.jp/dsweek/05au/t\\_1107\\_1.html](http://www.christian-center.jp/dsweek/05au/t_1107_1.html)